

高齢者施設から多世代施設へ

～喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く～

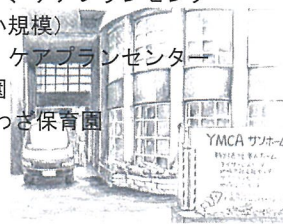


法人紹介



1997年4月開設

- 特養50床 ショートステイ10床
- デイサービス、ヘルパーステーション
- 地域包括支援センター、ケアプランセンター
- 志紀デイサービス（小規模）
- こさかデイサービス・ケアプランセンター
- 大阪市西区認可保育園
とさぼり保育園 あわざ保育園
- 高槻市認可保育園
たかつきあま保育園



大阪YMCA



- 今年創立135年
- 学校法人
インターナショナルスクール、日本語学校、
国際専門学校、通信制単位制高校
- 学校法人（兵庫県）
YMCA松尾台子ども園、しろがね子ども園
- 公益財団法人
ウエルネス事業、シニアカレッジ

子ども広場

- NHKで子どもの貧困を取り上げた番組が放映された。
- そのなかで「子ども食堂」が取り上げられる。

子ども食堂のいくつかの課題

- ① 資金
- ② 場所
- ③ 食事の提供者
- ④ 相談援助者とそのスキル
- ⑤ 連携先が分からない

- 高齢者施設の活用ができないか。
- 地域に根差し、ともに歩む理念と合致する。

一方で・・・

「貧困」の定義は何？
精神的？金銭的？環境？

- ① 家に帰った時に「おかえり」と言ってくれる人がいない
- ② 晩御飯を一人で食べている

私自身が日ごろから思っていること。

- 家にいて、子どもの帰りをいつも待ちたい
→ 鍵を持たせて、子どもに留守番をさせている時間が多くある。
- ゆっくり丁寧に宿題をみてあげたい
→ 仕事から帰宅後に慌ただしく食事を作り、合間に宿題をみている。

- バタバタと食事を用意するのではなく、ゆっくりと栄養バランスのとれた食事をつくってあげたい
 - 実際は、時間が限られゆっくりと食事を作ることは困難で、出来合いのもので済ませることも、外食も多い。
- 明日の用意も余裕をもって子ども達自身にさせたい
 - 気長に見守る時間的、精神的な余裕がないので、すぐに横から手伝ってしまう。

私たちの願い

- 家に帰った時に、「おかえり」の返事がない子どもたち。
 - 「いただきます」が一人で、兄弟姉妹だけで言う子どもたち。
- に向けて。。

1. 温かく迎えてくれる、安心できる「居場所」となる。
2. 相手を認め、尊重し、助け合う気持ちを育む機会となる。
3. ボランティアと共に過ごすこと、友だちと過ごすことが、人との関係性を作る力となる。

助成金申請と行政への連絡

- 独立行政法人福祉医療機構へ「子ども広場」の助成金を申請（2016年4月）
- 内定（6月）→本採択される（8月）
- 市役所へ相談。同時に東大阪市社協へも報告し協力を要請。
- 意岐部小学校へも挨拶に伺う。
- 8月初旬 東大阪市高齢介護課、地域ケア推進課との意見交換

ボランティアや地域との協働

- 公益財団法人大阪YMCAのボランティア担当職員と意見交換、大学生ボランティアの参加要請（7月）
- 民生委員会で趣旨と子ども広場の開催告知（7月）
- 民生委員の方、主任児童委員の方へ案内と協力のお願い（8月中旬～9月上旬）
- 自治会長や老人会での広報、協力のお願い
- 第一回子ども広場キックオフミーティング（8月末）

安心して楽しく過ごせる！

YMCA子ども広場

開催日時 水曜日 午後4時～午後8時

- ・ 毎週5名～8名の子どもたちが来ています。
- ・ 定員12名程度です。
- ・ あと4名ほど募集しています。

内容 昼食給食の夕食と大学生ボランティア

- ・ 昼食を受けたい中学生ボランティアが、子どもたちが楽しめるように工夫しています。
- ・ 昼食もして、レクリエーションもして過ごします。
- ・ 夕食はYMCA監督給食による栄養管理された食事です。

お願い 保護者の方へ

① お子様の帰宅時の安全確認
② ご利用中の様子を御覧になりたいは上よりごの同意がから

午後8時までにお迎えに来ていただくことをお願いしています。

お申し込み ① 200名/1日（夕食代）
② 定員：12名程度
③ 会場：YMCA大分センター
④ 申込先：06-6787-3733

子ども広場の概要

- 定員10名（12名）
- 毎週水曜日 午後4時～午後8時
- 費用：食事代200円
- お迎えは必ずお願いし、子どもの様子を直接ご家族へ報告。
 - 安全の確保
 - ご家族の様子も知る
 - 信頼関係醸成

【独立行政法人福祉医療機構 公益財団法人大阪YMCA】

子どもたちの様子



5カ月経過して

様々の家庭環境があることが分かった。

【子どもたちから】

- 親へ甘えたい気持ち、それができないこと
→ きつい言葉や態度となって表れる

【ご家族から】

- 子どもが言うことを聞かない。
- 思わず手をあげてしまう。
- なかなか家に帰って来ないことがある。
など

子どもたちと共に、これからも

➤子どもが健やかに育つために大切なこと
『自分のことを大切に

思ってくれる人がいる』

という事実を知ること。

- 悪い事をすれば叱ってくれ、良いことをすれば思いっきり褒めてくれる。
- 子どもたちのことを、自分のことのように捉え真剣に考えてくれる。

➤今、多様なかたちの家庭が増え、貧困家庭も少なくありません。

➤その中で、地域社会を明るく豊かにするための方法の一つは、

『健やかな子どもを育てること』

愛にあふれた環境で子どもたちが成長する。
『人の温もりを知っている』人となること。

そして、

「未来を築く力強い子どもたち」
となることを願います。

このことが、**より良い地域社会**へとつながります。

その大きな役割を「子ども広場」で担うことができることに誇りをもって、



**これからも
子どもたちと、
ともに歩みます。**

ご清聴ありがとうございました。

